

# おかせと おしごとトーク

今回のおしごとトークは、地元ケーブルテレビ局 Net 3 (開) のテレビ記者、見角 真之介さんにお話を伺いました。



大学での専攻が工業系でしたので、新しい技術の開発に取り組む研究者や民間企業の技術者と触れ合う機会が多くありました。

こうした方々と接する中で強く感じたのは、例えばある企業が技術者が製品を開発しても、世の中で脚光を浴びるのは製品であって、開発に携わった人たちが注目されることはほとんどないということです。私も技術者志望で大学に進学しましたが、「製品開発を支える方々の頑張る姿に、もっとスポットを当てたい」という思いが強くなり、

マスコミ業界へ就職を考えるようになりました。こうして就職したのが、北日本新聞社の関連会社である映像制作会社「とやまソフトセンター(富山市)」です。この会社の社員は、県内各地のケーブルテレビ局に派遣され、地域密着のテレビマンとして活躍する機会があります。私自身は、平成 20 年から滑川市・上市町・立山町をフィールドとする Net 3 に記者兼カメラマン兼編集担当として配属され、現在に至ります。

ケーブルテレビは、一般のテレビ局が放送する番組よりも地域の出来事を掘り下げて放送することができます。仕事をするうえで心がけていることとして、取材時には、市内で活動する方々を一人でも多くスポットをあてることのできるよう撮影に挑んでいます。取材後、会社に戻って編集する際には、視聴される方がその場にいたかのように感じることができるよう、映像の繋がりやナレーションなどを工夫しながら、番組を楽しんでもいただけるよう心がけています。

Net 3 は平成 15 年に開局しました。近年は多くの視聴者から、「楽しかったよ」「知人がたくさん出てくるので楽しい」といった声をいただくことがあり、皆さんから愛される番組になってきたと嬉しく思っています。これからもそういった声を一人でも多くの方からいただけるよう、地域に密着した取材を心がけ、皆さんに愛される番組づくりを行っていきたく思います。

発行 / 滑川市 編集 / 企画政策課  
〒936-8601 富山県滑川市寺家町104  
☎076-475-2111 FAX:076-475-6299

滑川市ホームページ  
フェイスブック  
https://www.facebook.com/kitarin.namerikawa  
http://www.city.namerikawa.toyama.jp/

## Pick up X NEWS

### ブックスタート事業を始めました

子ども図書館では4月から、市民健康センターが実施する4カ月児健診を受診されたお子さん(平成 26 年 12 月以降生まれ)を対象に、絵本を1冊プレゼントする、「ブックスタート事業」を始めました。

この事業は、赤ちゃんの絵本を開く楽しいひとときを分かち合うきっかけを、全ての赤ちゃんの元へ届けようと、1992 年に英国で始まったもので、日本では 2001 年から採用され、現在、多くの自治体で取り組まれています。

この事業は、絵本・子育て・赤ちゃんに関わる機関が連携しているのが特徴で、絵本のプレゼントをきっかけとして、健康診査の受診率向上や、幼児期からの読書活動の向上、子育てに対する悩みや不安がある方には子育て相談の案内などが円滑に行えるようになるなどの効果が期待されます。



3冊の絵本のなかからお好きな1冊をプレゼント!  
絵本は子ども図書館でお渡ししています。

## 広報クイズ

【問題】 ホタルイカを天ぷらにした給食が小中学校・幼稚園に登場しましたが、その名称は?

☆正解者の中から抽選で、3人の方に次の中から希望の商品をプレゼント。下記の様式で申し込んでください。締め切りは **6月15日(月) 必着**です。

- ① あいらぶ湯入浴券
  - ② 図書カード 500 円分
  - ③ キラリンぬいぐるみ
- 5月号の答え | 広報紙  
5月号の当選者(敬称略)  
酒井 花凜 (田中新町)  
細川 貴晶 (追分)  
水橋 公子 (高月町)

郵便番号	52 9368601
住所	滑川市役所
氏名	「広報クイズ」係
クイズの答え	
希望のプレゼント	
(ご意見・ご感想)	

## 編集後記

滑川では6月の上旬を目途に、ホタルイカ漁が終了期を迎えますが、入れ替わるようにして中旬ごろからはホタルを観賞できる時期に入ります。ふと気になり、ホタルについて調べてみました。お店の営業が終了を迎えようとする時に流れる“蛍の光”は、スコットランドの民謡を原曲としているそうですが、原詩(歌詞)は友人と杯を交わす内容で、日本の歌詞とは内容が異なりました。海外にもホタルがいるのか調べてみると、ホタルは世界中で2,000種いるそうで、その大半が幼虫期を陸上で過ごすそうです。日本のゲンジボタルやヘイケボタルのように、幼虫期を水中で過ごす種類は珍しいそうです。美しいホタルの光。市内では、本江や小森で観賞できますので、夕涼みがてら夏の風物詩を楽しんでみてはいかがでしょうか(●ω●)(S)